

5 前川牧野の管理

- 実施主体 前川牧野組合（南阿蘇村）
- 実施場所 前川牧野（南阿蘇村）
- 実施期間 平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月



◇背景・ねらい

私たちの牧野は南阿蘇村西部、南外輪山上に位置し、放牧に利用・管理している。

維持管理では野焼き・輪地切り・輪地焼きを行っている。また、野焼きの終了後に牧野交流会を実施する。

◆実施概要

俵山トンネル（俵山バイパス／県道 28 号）を出たところにある牧野で野焼きを実施。

- H27 年 9 月 20 日：輪地切り
- 同 9 月 27 日：輪地焼き
- 同 11 月 25 日～12 月 4 日：有刺鉄線の張替え（放牧終了後に実施）
- H28 年 3 月 29 日：野焼き実施、終了後に交流会
 - ・野焼きは、午前 8 時から午後 3 時までに実施。スギ山所有の関係で管理地を分けており、早いところは 3 時間位で終わる。
 - ・野焼き終了後、午後 4 時頃より各小部落にて交流会を実施し、交流を深めた。

◆実施体制

- ・輪地切り、輪地焼きとも入会権者（40 人位）が参加。
- ・有刺線張替えは入会権者で実施。
- ・野焼きには、50 人位が参加（入会権者全員、消防団員 8 名の協力、水工場（2 社）から若い人数人がボランティア参加）。

◆成 果

- ・野焼き面積：30ha（全域）※放牧利用していない 1 区画も焼いた。
- ・地域の人々の協力で無事に野焼きを行うことができた。

◆実施者の感想

- ・地区内では若い人が減ってくるため、今後の野焼きは大変になる可能性があるだろう。
- ・畜産農家は 2 戸で飼養頭数は 50 頭位、かつて各戸が数頭ずつ牛を飼っていた頃と同じくらいの頭数を飼養しており、畜産継続は問題ないだろう。
- ・しかし、熊本地震で牧野の上の崖が崩れ、その後の大雨で土砂が沢に流れ込んで木が山積みになり水が使えないため、今は放牧ができない状況である。水を引くためにはホースや機械の費用が必要。何とか水を引けるようにしたいが、今後の台風の影響など上の崩落が落ち着かないこともあり、手立てがない状況。
- ・来年は何とか放牧できるようにしたい。放牧利用しないなら野焼きはしないということにならないかという心配もある。